

JA安芸

農業振興対策本部  
(082) 855-6176



# 農協だより

Vol.60

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 23 年 8 月

## 稲作講習会

内容 出穂前後の管理と収穫期まで

\* 午前の部・10:00 より \* 午後の部・1:30 より

日程	8月1日(月)		8月2日(火)		8月3日(水)		8月4日(木)		8月5日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
会場	畑賀支店 2階	阿戸支店 2階	上瀬野支店 2階	瀬野支店 2階	東海田支店 2階	中野支店 2階	萩原支店 2階	中須賀支店 2階	追分支店	初神 老人集会所

## えだまめ収穫体験開催!



7月27日、阿戸町にて食農教育の一環として自然の大切さと農業の魅力を感じていただく目的で親子を対象に「JA安芸こだわりえだまめ収穫体験」を行いました。当日の朝は大雨となりましたが集合時間にはすっかり雨もやみ、親子の参加者43人を里山あーと村へ案内しました。ここでは里山の間伐材を使って竹の人形や動物を製作しました。子どもたちも真剣な眼差しで製作に励んでいました。お昼にはJA安芸女性部(阿戸支部)の皆さまが前日から準備してくださり、鮮やかな緑色のえだまめがたくさん入ったごはんに地元の夏野菜を使ったカレーをかけていただきました。午後からは営農指導センターの指導員から「大豆の話」やJA安芸の育苗センターでお米や野菜・花の苗がたくさん作られていることを説明し、この時期に旬で鈴生りに実ったえだまめ(湯あがり娘)の収穫を行いました。一家族5本を収穫したえだまめは買ひ物袋にいっぱいになりました。今回のえだまめを栽培された農家Sさんのご厚意でトウモロコシの収穫も1人1本させていただきます。収穫したてのトウモロコシを生で食べるととても甘く参加者の皆さまは大変驚かれています。普段、自然に触れることの少なくなった子どもたちにとって畑の土を触ったり、虫を捕まえたりと楽しそうでした。今回は自然・農業を学び地元野菜やお米を使った料理を食べ、みなさまに怪我もなく楽しんでいただき、大変充実した夏の日となりました。



## 「JAグループ広島東日本大震災たすけあい運動」

3月11日に発生した東日本大震災は、4カ月が過ぎました。これまでに、義援米の提供、たすけあい募金と支援をしてきました。東日本大震災JAグループ広島支援隊が21名で編成され、7月11日～15日まで宮城県へ派遣されました。その中に、JA安芸から職員2名が参加いたしました。(6月27日現在までに全国のJAグループから延べ1,021名が派遣されています。)7月11日到着当日、東日本大震災JAグループ支援隊第13陣(滋賀県4名、島根県22名、大分県14名、広島県21名)のオリエンテーションがありJA宮城中央会営農農政部長より宮城県における被害状況(7月10日現在死者9,212名、行方不明2,807人、負傷者3,777人、避難者32万人、瓦礫1,800万トン等)及び、3月11日の被災の様子等の説明を受けました。

「みやぎ互理農業協同組合」について管内農地の約8割が津波により冠水し、いちごハウス生産者380人のうち95%の356人が被災して被災面積91.4ha(全損78.6ha・部分損12.8ha)の被災を受けた所で、いちご育苗準備(苗採り)作業の支援をする説明がありました。翌日より支援活動に入り、これ以上のことはないという悲惨な状態でした。見渡す限りの水田は4ヵ月の時間により雑草は生えていますが、稲は植えられる状態ではありませんでした。

JAの職員、農家の方々とお会いした時、笑顔であいさつを交わしましたが、みやぎ互理農業協同組合組合長が「一瞬にして家や家族を失ってから4ヵ月経った今、やっと笑顔が出てきた、被災地の人々だけでは復旧・復興はできません。全国の多くのボランティアの方々に背中を押されて助けられています。」と話を聞いた時、計り知れない悲しみを感しました。支援に入った所の農家は、平成12年度農業経営確立対策事業で1戸が30aのいちご連棟ハウス(5,000万円)で、栽培農家が5戸集まっているものでした。施設は全部1mぐらい津波で冠水しましたが奇跡的に助かった所です。約12万本の苗を作る支援を一生懸命手伝わさせていただきました。JAグループではこれからも長い目で見た支援を続けます。



## TPP交渉参加反対1千万人署名全国運動

「TPP交渉参加反対1千万人署名全国運動」の中間集計の取りまとめを報告いたします。1月～4月までの運動期間における中間集計で5月末時点において、約1,120万人分の署名が寄せられ当初目標の1千万人を大きく上回りました。

今回の中間集計結果を踏まえ国民的な合意形成に確信を持って引き続きTPP参加断固阻止の取り組みを進めていきます。ちなみに、広島県内目標の25万人を大きく上回り署名者数は、28万796人となっています。また、TPP交渉への参加に反対する意見書を採択された市町は、海田町、熊野町、江田島市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、竹原市、尾道市、世羅町、神石高原町、三次市、庄原市、府中町の13市町です。

秋播き野菜の品種と作型

平成23年7月22日

作物	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	品種	畦幅×株間
ハクサイ		●	●	●	●	●						野崎交配2号 無双、黄ごころ75 きらぼし77、晴黄 ほまれ2号	130~140×40 2条
キャベツ	●	●	●	●	●	●						輝、新藍 湖月、新藍 彩音 夢ごろも	120×35~40
寒玉系	●	●	●	●	●	●						おきな	
サワー系		●	●	●	●	●						湖水 金系201号	2条
ブロッコリー	●	●	●	●	●	●						頂花蕾 側花蕾	120×40~50
茎ブロッコリー	●	●	●	●	●	●						スティクセニョール	2条
カリフラワー	●	●	●	●	●	●						白菊 寒月 美星(ミニ)	150×40 2条 25×30
結球レタス		●	●	●	●	●						極早生シスコ シスコ	100×30
リーフレタス		●	●	●	●	●						晩抽レッドファイヤー	
半結球レタス		●	●	●	●	●						チマサンチュ	2条
シュンギク		●	●	●	●	●						ハーブボール	
ホウレンソウ		●	●	●	●	●						大葉種 (夏は雨除け施設)	120×7 2条
コマツナ		●	●	●	●	●						パンドラ、エリナ(1d)	120×7
ダイコン	●	●	●	●	●	●						パンドラ、ソロモン、まぼろし、オラクル、アトランタ	広幅 3条
コカブ		●	●	●	●	●						サラダあかり(赤軸)	
タマネギ		●	●	●	●	●						4~8月下旬 なつみ 9月から 夏楽天	120×3~5 4条
葉ネギ	●	●	●	●	●	●						夏みの早生3号(白) 夏の翼 耐病総太り、紅しぐれ 早太り聖護院、おせん 天宝	120×25~30 2条
下仁田ネギ	●	●	●	●	●	●						耐病ひかり、はくれい CRゆきばな	130×7~10 4条
タマネギ		●	●	●	●	●						新玉	
葉ネギ	●	●	●	●	●	●						トップゴールド320(葉玉葱) トップゴールド(早生) ソニック(早生) アトン(中生・極大玉種) もみじ3号(晩生) ルージュ赤(赤玉葱)	130×7~10 4条
下仁田ネギ	●	●	●	●	●	●						九条系	50×1 1条
キヌサヤ	●	●	●	●	●	●						雷帝 (12月収穫)	65~75×10~20 1条
スナックエンドウ		●	●	●	●	●						仁村赤花	120×50~60
実エンドウ		●	●	●	●	●						仁村サラダスナップ	1条
ゴボウ		●	●	●	●	●						グリーンピース	150×25~30 1条
ニンジン	●	●	●	●	●	●						常盤、柳川 魁白肌(葉ゴボウ)	120×10~12 2条
ジャガイモ	●	●	●	●	●	●						ダイエット(短形ゴボウ)	60×3 1条
イチゴ		●	●	●	●	●						向陽2号、小泉冬越5寸 ベーターリッチ	120×5~12
ミズナ		●	●	●	●	●						金時ニンジン	広幅 2条
ミズナ		●	●	●	●	●						農林1号、デジマ	60×25 1条
ミズナ		●	●	●	●	●						宝交早生(露地)	120×20 2条
ミズナ		●	●	●	●	●						早生千筋京水菜 千筋水菜	100×5~8 3条 100×15 3条

奨励作物 ●種まき ×定植 収穫 トンネル 仮植